

Nº990. BASTOS, 2 de MAIO de 1969. O PROGRESSISTA REG. Nº 2575 SÃO PAULO. A. P.

バストス週報

第九百九十九号
昭和四十三年
五月二日発行

Diretor
Keiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres-
Vargas 188
C. Postal 112
Fone 40
BASTOS
C. P.
Anual
N. Cr #
15.00

晴 曇 伸張するか 伸張するか

バストスは鶏の里、鶏卵の村として自他共にゆるしていが、戦後二十数年にして、ここまで伸びた由来を辿つて見ると、養鶏家個々の自覚と努力によるよろことは勿論ではあるが、創世時代は、これを指導誘導する力が必要であり、技術關係のみならず、資金のやりくりに到る適世話をしたのは、外ならぬ産業組合の力が大きかった。当時、バストスの産業組合は戦時中不測な圧迫を蒙つたことから危機に見舞われていたので、多くの組合員を手放すのが遅にあつたが、これに代る勢力として、コチア、南伯、バンデラソテの諸組合が進出し、後々には同志が結束して、小組合を作らなどの機運が起り、養鶏は産業として急速な発展を見るのみならず、バストス郡が地方の小ムニシピオであるにかかりわらず、農産物の金高では、聖州第二のムニシピオにのし上つたのが、全く驚異的な伸張というべきであろう。

このように一つの産業が伸びるために、技術、指導、融資の外、各個の熱意、協同精神などが適宜に融和しなければならない。聖市郊外あたりの話を聞くと、野菜など人の作るものを作つてゐたのでは金にならない。人の作らぬ間際に植えて、さっさと出荷しないと駄目だ。又、特別の技術を要するものなど秘密にして教えない。ということもあるまいが、自分の金もうけを守るために、そういう小手先きの苦心も必要かも知れないが、何か島国根生的で不愉快な話である。野菜と鶏卵では同じ様にはじめた人は、育雛のことから飼料の混合まで、皆先輩に教わり、時々は講習会に出席して、養鶏智識を吸収したものである。病鶏が出れば解剖したりして、病因をたしかめろなどして、お互に助け合つて研究したものである。バストスの養鶏家が、他のそれと比べて、一段と技術的に進んでいるかに見えるのは、真剣に研究し、苦心慘胆した報酬であろう。

錠剤 カルモラ

どの衰弱にも



胃腸強化に
ガン予防特効薬
家庭常備薬



お肌の若がえり方法に
リカクリーム各種
頭髪の栄養に
ワカホマード



お肌の若がえり方法に
リカクリーム各種
頭髪の栄養に
ワカホマード

わかもと製薬株式会社
わか美容化学研究所

美しいくて安価なだけではいけません。その上に堅牢さ、つまり、型のくずれないのが良い靴の条件です

Sapataria Bastos

早川 靴店 電話 五五



鶏卵の消費地は主として聖市、リオなどの大都會だし、出荷の量も多いので、個人々々で売却は不可能だから、産業組合の販売組織を通じて、委託販売をする。流通税を実施されて「個人の直売なら免稅」という簡條に目をつけ、カミニニオソンを駆使して聖市に自分のデポジットを設けて直売をやつていろいろ人もバストスに

は居るが、そういう大手筋は二三に止まるであろう。今日では個人の I.C.M. は免除され、やがて組合の使命も認められるようになれば、又以前のようが愉快な空気にもぐりあえるだろう。

バストスの養鶏も、ここ迄進展すれば、押しも押されぬ大産業で、そのお蔭を蒙り、商売も成り立つし、金融も円満になるし、住みよい社会になりつつある。

バストスの産業としては、養鶏よりもと古くからの大産業がある。即ち、布拉タク製糸を中心とする織の生産であるが、この方の指導、金融は一切布拉拓製糸会社持で、養蚕家と会社が特定な売買取引を行うことによつて成立する組織である。^(表)蚕家の作つた織が布拉タク製糸に受け渡されてしまうと、その織の処分は一切布拉ザの権限にうつり、出来た生糸が改米に輸出されようか、国内で消費されようか、略曉で……。

養蚕、蚕糸業も四十年の「殖分儲かつたこともあり、不況の「ドン底」にあえいだりしたが、近年生糸の価値が再認識され、化學糸の攻撃に微動たなしにない強固な市場を開拓し、業界のために氣を吐いている。

多年の蓄積した力を以て今や会社は工場や、諸設備を一新し、男女の寮幾棟、従業員住宅も改善され、貴賓館も備容を誇り、アスファルト道路と相俟つて、バス、トラックの仕事が順調に発展している証拠であろう。しかし、バストスの地は何としても、フランコで、養蚕家は施肥に大変である。ところが、近年の農不作と、積金に追いつめられた各地の農家へ主として巴線しが養蚕に手を染め、無肥料地帯で良桑を得、大いに養蚕業に懲命である。遠くノロエスティ方面からも織出荷がある模様だ。此の養蚕にしても数量が或程度縮わねば、産業として成り立たない。良織を多産する處に斯業発展があるわけだ。

地鶴が庭園に数個産卵したり、五六羽のピントを連れて歩いていても産業とはいひがたく、手袋で絹織物を織る原料をとつたくらいでは産業でもあるまい。貿易の崩つ品を多量に売出出來れば商品価値を生じ、産業として意義づけられる。

その他バストスにはポンカンがあり可なり栽植され、五六月出荷時期である。故畠中翁の唱導によるものではあつたが、当初の勢ほど移住地ではひろまらず寧ろポンカン苗の輸出の方が派手だつた。ポンカン樹は病気に強い相だが、力

ンク口病を警戒するあまり栽培を手控えている向もある。

二三年前きいた話だが、リノーポリス方面でランク口病疑似の樹が見つかり、その取り調べのためか、バストスにも五人で調査に当つていたとのことである。調査されている農家の方に手落ちがなればよいがという話であった。こういう時、ポンカン業組合が敏感な動きを見せる必要があるんだが、農林協会もまだ完全な動きを見せていないとすれば、何とか、物足らぬ気がせぬでもない。ハカソウが疑似的本がもしあれば、速かに伐採、焼却してしまるべきである。賢き立て方が賢明だ。

最近の話題に「アバカテ」がある。バストスの新産業として、書写真は出来上り、養鶏、養蚕へ志ある人々が真剣に考慮すべきことと再考して、アバカテの栽培に興味がある。松原市長は「アバカテも栽培に興味がある」といふと、アバカテの栽培に興味があるがたい。養鶏、養蚕が、いかにして今日儲を狙つてゐるようでは、産業とはいひ難いときくが、ただ掛声だけではなく、実際に即した方法で熱を入れていたときた

い。これまでのバストス産業興振にプレスイトが助力した例はないようだが、一部の生産物に主となつて働く位の気力はどうしても必要である。うしても必要である。幸い、議員に木村氏、豊島氏等の有力者も居るので、アバカテを物にするたために、彼らを動員していただきたい。しかし、やる氣があつて、アレソンを勧めたり、アバカテの栽培に興味がある人が、市長の中にも役に立ちそう的人々も居るので、アバカテを物にするたために、彼れらを動員していただきたい。さくところによると、アバカテは特種の種類でなければならず、接種、台木の伸張させしめるか、新しい角度からの、政治力をも必要とすることが多いだろう。民間の熱意だけでは物になるまいし、政

セーターの時節

あみものの教授 各種あみものの機
あみものの用毛糸 梓安あみものの貸
糸 音

提山米子

わかりやすい仏教のお話

(17) せべそそぐ

第十五回 ラジオ マリリア放送より
お祝迦さまが、二千年前の四月八日にお生まれになつて、三千五歳の十二月八日、曉の明星の消えなんとする頃、正覚を成就し、お悟りをお聞きになりまして佛陀世尊とおなりになつた、そのお悟りの内容は、諸行無常ということであり、諸法無我ということである。即ち三法印がお悟りの内容であるということを申しあげ、二、四、五回にわたつて三法印の一づ諸行無常というこについて申し上げましたが、これかけは、第二番目の諸法無我ということについて、お話を申し上げたいと思います。

諸法といふことは、これも仏教の言葉で、諸はもろもろ、法は法律の法といふ字を書きまして、ここでは、物、或は状態といふような意味であります。従つて、諸法といふことは、總ての物、總の状態といふほどの言葉であります。そのすべてのものは、我が無い。蓋てのものは、我一人でできているものではない、といふことであります。

どういうことがと申しますと、世の中は、自分一人で生きておられるものではなくて、色々なもののにによって出来上つてゐる。だから、一人で生きており、生きて来たように思うならば、それは正しい世界の見方ではない、といふことがあります。

近頃は、近年にない暑さであります。すでに四月だというのに、十二月、一月のように、所謂きびしい残暑であります。我が家にとっては、暑いから困ると困るのでしたが、町に住んでいますと、雨が降らないと困るという家にとっては、作物が大きくならない。枯れるといふおそれがあるから、それでは一大事でありますから、心から困る困ると申されるのであります。

「このところが、諸法無我といふことであります。即ち、皆さんもご承知のように、庭でも畑にでも何もかも作ろうとします。先ず種をまきます。その上に土をかぶせ、木をかけてやります。そうすると、その中で水をまくことになります。肥料をやります。そうすると始めて、芽がだんだん大きくなり、木になり、草はつてくる。即ち大きくなつた木や草は、種子があつても、太陽の光りやら、空気というようなものを吸いとつて、それが成長となり、花が咲き、実がなる。これが木に成長するのであります。木一本、草一つの中にも、数える事の出さない

色々な養分、吸いとったものが含まれてゐるのをあります。

この事は、草や木ばかりでなく、動物であります。又人間であります。又人間が作るところのわれるような石や岩や、又人間が作るところの草と同じように、周囲のあらゆるものがありまして、世の中のもの、何一つとして、自分だけで出来てゐるものがないと、いうことが諸法無我といふことです。

私たちが子供の頃は、家を建築する現場を通りますと、大きな立札がたてられていて、それに工事を請負う会社の名前が書かれ、その下に「普請場」と書かれてあるのを見たものであります。普請場と書かれてあるのを見たものであります。このように苦は、工事をする事を普請と呼んでいましたことは、お年を召された方は御承知と思います。その普請といふことは

、これも仏教から出た言葉であります。あまたは勿論で、林木から瓦、釘、棟瓦その他沢山のもののアシナダを願い、それを貰いとつて始め工事が完成する、有難い事だという意味であります。この普は、何も家を作ることばかりではなくして、私たちの身体であつても、頭であつても、やはり普請によつてできてしているのであります。

こう考えてみると、普請といふ言葉は、諸法無我といふ仏教の道理を、平直に表わしている言葉だと思われ、非常に意義深い言葉といえます。今日はこれまでと致しまして次の永曜日に、も少し説明を致します。(三月十六日放送)

絶対確実、当立場より
直接皆様へ御送りする
「尾西兄弟商会の家具」

ウインンドの装飾棚、
バルコン、事務机、
本棚、書架
新築家屋嵌戸棚、
結婚式用寝具セツト
各種
日本文によりお好み
に合せて製作いたし
ます。

MOVE GUARANIS
Irmãos Onishi TUPAN
Armario mbutido e Moveis em geral
Fabrica Guarani 141594 C.Post 257
Loja Av. moiyos 935 Tlone 2018

五場、グワラニ街五九四一六二四

ツバノ市
本舗タモーヨス大通り
電話二二八、郵函二五七番
九三五

尾西兄弟商会

蠻界抑留記 完結

ハンステン

西原亨訳

各種サボテン。ツバキ
ツツジ・花奔苗・柑橘

果樹類いづり

五二四

森元苗木店

世品一十九

一路なつかしの祖国へ
マラカシヤ族は、長年にわたりボルトガル人と争い続いているトピナンバ族の勢力範囲にあり、そのトピナンバーはフランス人と同盟を結んでいるという関係にあった。
当フランス人とボルトガル人は、これら土人間の争いを利用して、同盟を結び、ブラジルで互に勢力を競っていた。その時、小型ボルトガル船を発見したのであるから、フランス船がそれを見のがすはずがない。

小型船がけて突進する。
船は、わたしに「一つ君が大声で、降伏をす
すめてくれ」と言った。わたしは、それに従い

船が近づいた時、大声で、降伏を勧告した。その間にも、船は間かくをつめ、一発威嚇の大砲を放つた。相手は小型船のこと、何程のこともなかろうと、油断していたのが不覚であつた。ポルトガル船は、降伏勧告などには耳もかさず、猛然と挑戦して來たのである。いきなり五六弾をフランス船目がけてうちかけた。中に一発は命中して、ただちに、五六名の負傷者を出した。わたしも砲聲の破片を左ももにうけ、どうと転倒した。そして、意識を失い、約二時間の後、自分で取りもどした。

わたしは、それから一心に神に祈つて、一身の無事を願つた。願は有利に展開して、ポルトガル船を打ちくだくことができた。

ジャネー口巻を後にしたフランス船は一路、祖国にむかって大洋を進航したのであつた。
海はおだやかで、鏡の上をすべるような航海を続けて、三ヶ月と二十日の航路の旅を終え、一九五五年二月二十日、フランスのノルマンディー、ホンフェルに到着した。長い間陸地を見なかつたわたしたちは感慨無量の思いで上陸した。わたしは、乗組員たちのみなみなならぬ好意にむくいるため、荷物の積みおろしを手伝いやし、船長に厚く禮を述べた。
船長は「もしあなたさえよければ、この船の乗組員になつて、さらに航海を続けてみないか」とすすめてくれた。しかし、わたしは、故郷のドイツに一日も早く帰りたかつたので、船長の好意を謝し、お別れすることにした。
船長は、わたしのために旅行通行証を取得してくれたり旅費まで贈つて、わたしを見送つて

船長は「もしもあなたさえよければ、この船の乗組員になつて、さらに航海を続けてみないか」とすすめてくれた。しかし、わたしは、故郷のドイツに一日も早く帰りたがるので、船長の好意を謝し、お別れすることにした。

船長は、わたしのために旅行通行証を取得してくれたり旅費まで贈つて、わたしを見送つてくれた。

わたしは、心はずませて、ドイツのディーヴィレテー号といふても、読者の中には、記憶

しない方もあるうと思う。わたしが、土人に捕えられていた時、ウバツーバ部落をおとすれたフランス船である。わたしが必死になつて救助を願つた時、土人たちにむかいで「この白人は、お前たちの敵に当るボルトガル人だ。屠殺して食べてしまえ」と言つて、わたしを見殺しにした船員たちの乗っていた船である。

このへしアーヴィングは、力タリーナ号より約三カ月も早く、ブ拉斯ルを出航しているはずなのに、まだフランスに到着していないのである。

こと知り、ベシテー号の船長や乗組員の家族
、わたしを招き、夫や兄弟の消息を聞きたく思
つたのである。わたしは、ベシテー号の乗組員
が、土人部落を訪れた当時の事を思い出し、そ
の無慈悲な行為、非人道的なやり方に、あらた
めて怒りを新たにした。そこで、その家族の者た
ちにむかって、船長以下乗組員が、どのように
無情であったかを語った。そして最後に、神は
如何なる場合にも、正義の味方である。わたし
を救助してくれたカタリーナ号は、全員無事に
帰国することができたのである、と付け加えて
おいた。

命について真剣に心配していた。わたしは、彼らをなぐさめるために、まだ難破したとも、他国に漂着したとも知らせがないのであるから、気長く待つうちに帰ってくるだろうと言ったが、内心難破したのではないか、という疑いが強くわたしの心を支配した。

そして最後に、「もしベレテー号の乗組員が帰国したら、気の毒ながら、このスター・デンは、諸君より一足先きに無事祖国に帰つたといたことを伝えていただきたい」と言い残して、デイツベを出發し、ロンドンで數日を楽しく過ごした。次いで、セラン・ディアを経て、なつかしの故郷アントエルビアに到着したのであつた。

雄大なる天地を御手により創し給える神よ。
吾らのパトリアルカ、アーヴラハム、イザアキ
そしてまたジャコーよ。汝よくイスラエルの民
を引具して、紅海を渡り、悪魔の手より救い給

チラ、デンテスの日



去る四月廿一日はチラ、デンテスの日で、アーチードであった。チラ、デンテスの日と呼ばれてゐるのは、何故歯抜きの意で、デンチスターの事である。何故チラ、デンテスの日と呼ばれてゐるのか判らない。

いが、一種の尊敬と愛称の念がまじつてゐるのかも知れない。目下御手許に氾濫してゐる五コント札は印象的である。

表面側には、長髪のチラ、デンテス（本名、ジョアキン・ショゼ・ダ・シルバ・シャビエル・ジョゼ・ダ・シルバ）の半身像が表現され、裏面は牢獄の一光景で、ボルトガル兵に堅められた中に神父から引導をわたされ嚴然として首領刑につく前の図である。

当時のブラジルは、ボルトガルの植民地で、ハリオ・ド・ソウザ（ボルトガル王家の財政のために、ブラジルでは苛斂誅求にかかり、がれていた時代である。

当時ミナス州で、金の採掘者打、おびただしい金を採取したが、ボルトガル政府は、その五分の一を税金に取り立てる有様で、ミナス州を中心として、ブラジルの独立を計る運動が全土に浸潤した頃である。

当時のブラジルの産業といえば砂糖、金な

どあつたが、重税に苦しめられても植民者は軍隊にボルトガルへおさえられて、どうすることもできなかつたらしい。

アメリカが本国イギリスから独立したといふ噂がブラジルに流れ、当時のフランスの留学生ジョセ・ショアキン・ダ・マイアその他

の学生が、革命の計画を立てたが、北米の援助を期待して得られず、失敗に終つた。

次に同じくフランス留学生ドミニゴス・ヴィダル、バルボア、ジョセ・アルベス、マシェルなどが、故郷ミナス、シェライスに帰り、ボルトガル政府の悪政と戦う決心をする。この革命計画に参加したのは、フレイレ、デ・アンドラーデ大佐、アルヴァレンガ、ペイショット、クラウジオ、マヌエル・ダ・コスタ、トーマス、ゴソザカなどが中心となり、当力な志士と語らい、ひそかに革命の計画を進めたのである。

この革命運動の一員に、本題のチラ、デンテスが加わった。彼は正義の観念が強く、理想実現のために死もいとわない強い意志の持主で、同志から尊敬されていた。

ノロシを上げる機会が来た。ミナス州知事ヴィスコンデ・バルバセトナが、滞納税金を厳しく取り立てはじめたので、植民地の反感にあり、不満爆発の形勢になつた。革命の志士たちは、チヤンスとばかり立ち上り、武器弾薬を得るため、リオやサンパウロに援助を求める、一気に各地の蜂起を見るかと思つた

土壤散布用チメツト五%

透性殺虫剤

グラヌトックスは、他の殺虫剤で、使用法が簡単です。グラヌトックスは土の上に散布すると、作物全体渗透し、葉の先に行き、根から吸収されます。そのため作物全体にグラヌトックスがすみずみまで行きわたり、害虫から完全に保護されます。グラヌトックスは特に吸口昆虫、例えば、ゴン・シガリーニヤ、トリップス、カイガラムシ、ペルセベリショ、に効果があり、又、土壤害虫にも卓効があります。米作、バタタ、カブト、サトウキビ、フェジョン、メロン、西瓜、トマト、小麦、花糸、アルブセ、棉等に使用して非常に効果を上げます。

もう一つ大きな特徴はビールスに対する効果あります。ブルゴン、トリップス等の吸口害虫はビールスを媒介しますが、これらの害虫を生育初期から防除することによって、間接的にビールスを防ぎます。

が、密告者のために、革命主義者たちは悉く捕えられ、運動は遂に空軋した。

裁判の時チラニソテスは、全書

貢や、同志を助けようと努力した。その気迫が今日チラ、テソテスに対する畏敬となつてゐるのであるまいか。

主謀者たちは国外追放となり、チラ・デン・テスは死刑の宣告された。一七九二年四月廿一日、正義の士チラ・デン・テスは絞首台の露と消えた。

立の精神は、ブラジル人の心に深く根を張る
至つた。その後三十年程して遂にブラジルは
独立した。一人の死が、革命の先駆となつて
美しく散つた。ブラジルの花として常に民衆
の心にかかる。

卷八

四頁より、垂界御留記、づく
う。汝よく猶^ホりぬう雄辨子の魔口よりダニ^ト
ルを守り給う。

おお、全知全能なる神よ、愛するキリストよ、この無知にして狂暴なる食人種どもに、神の御力を知らしめ給え。

神よ。神よ。わたしの生命の危機に当り、わたしを救い給わば、この身を、この身の非力を顧りみず、全力をつくして、生ある限り、神のまことを人に伝えるであろう。アーメン

完

森元福雄君

信州府志

バストスの苗木商森元武雄氏の三男福雄君は、クリチーバ農大卒業後、昨年日本農業視察研修のため、県費留学生として、長野県伊那市に滞在中、赤羽見一氏という某家の末娘有子さんと相思の間柄となり、本年四月五日、当地浅江信行氏の媒妁で挙式の典をあげた。

易化されているようにもきくが、福雄、有子
西氏の場合は中々大がかりのものであつたら
しい。

挙式は、伊那市大通りの教会で行われ
午後三時、同市、丸井という割烹店で盛大な
祝宴があげられた。

この祝宴や祝辞など録音テープに取り、信
川大学教授、辰野高校教諭その他東京から聴
せつけた親戚など、大勢の太合唱やら、花束
贈呈、高砂、乾杯、宴会と、ヨーロピア宴会薦
までの慶事であつたらしい。

御兩人は、五月三日頃、横浜港出帆との事で
ある パラベンス

パラベンス

昨年訪日旅行後帰泊までよりクワタ桑
園造成に打ち込メ本橋本製糸会社
長橋本光義氏（中略）（中略）セ病のた
め一時健康を害シ、神奈川先夜の蘭倉庫の
火災で相当のショックを受けたが、二月へ
こなれては、心身一転再起の本心を固
め大處、財政も加減も急によくなり追々
状況不向い、つあらとの事。バストス座
業界にとほり、大事な人物であらう切に
御自愛を祈る所の如也。

Escritorio de Advocacia DR. KOBAYASHI E DR. ISHIKAWA

民法 刑法 徵稅法 勵勸法

御氣輕に
お訪ね
下さい。

御相談に
應じます

新切丁寧

プレミテソテバルガス街一八九

石川小林法律事務所

バストラ柔道の榮誉

馬久場君の奮鬥

五
四

市長力不^カタシ夕区を訪明

石井千秋帰のもとに柔道修業に出聖中の馬久場一郎君、去る四月二十日アバレ市に於ける聖刊インテリオールヘトロフルールバンデラシテ柔道入会に出場
経量級 第一位

無差別 第二位
の輝ける成績をあげました。感謝を
出場チームにて団体
一位 リオタマラロ
二位 アバリー
三位 サンペナルドカン・ホヌ
た。尚本年十月ノキシコにて世界選手
権大会が開催されることと相成つており
ますので、聖川、全治、世界大会を日指
して修業の同君へ御声援を願い上げます。

去る四月二十二日夜カスカツ区長の招待で招原市長は同区会館を訪問し区民を集めて道路問題の説明をした。道幅十五メートル尚セル力込左右一米宛を追加するとの承認を求めた。測量には同区高野氏が当り五月草々着手することとなつた。

同席上市長はハストスに觀光設備を起し觀光都市計画、並に鶏病細菌研究所設立の認可などによりき説明があつた。詳細次第でお取次ぎする。

おしゃれ

兼題
秋灯触目吟一社

同好者の方の御参加を希望致します

婦人用
男子用
靴

子供用

一般向きの

一
斐
人
道

その中に御気に召す
品がござります。

CASA CANALIS

出火いたし、全焼の憂目に遭いました。その、節真夜中にもかわらず、多数の方々現場に御かけつけ下され、又、フナ拓製系会社からは、非常招集により、あと始末のため多數の車を動員して、一方ほうの御馳験をして下さりました。

ありました節には、大貴様の御尽力により、
水不使の折柄にも拘らず、防火できました
ことは、誠に不幸の幸にて、ひとえに皆様の
御かげと、合掌感謝申上げる次第でございま
す。

混雑の折柄御芳名も判明せず、一々御礼に
も上りませず、又、御丁寧な御見舞の辞、御
見舞品などを賜わり、誠にありがとうございます
でした。

何分整理にござつた返して居りますので、御
礼の御挨拶申上げることもつい延引いたし、
申しわけもありません

何卒向後とも何か御戸候賜りますよう御願
い申上げて、御礼の御挨拶といたします。

名立様

橘本光義

カザ・カリス支店

耕雨訪日吟句

観光旅行も予定通り四月五日観光団を解散しました。同日の朝しとと降る春雨も、何時しか時なうめ雪となり珍らしさ、なつかしこに、フランスよりの客を喜ばせて呉れました。

同日午後十二時四十八分発の、「ひかり号」にて新幹線を東京迄戻り、たゞに特急「あさま」にて、同日夜七時半頃信州は上司に到着、始て故郷入りをしました。六日の朝、早く速報殿の歓迎でがたがたゆるられ、おどろくやう、日本に来た実感を味わせられました。今年は、近頃になつてより寒くなつたとかで、例年より桜の開花が後れ、私共の観光旅行も、どこでも桜の花にさきかけた旅行で、一寸失望しました。

昨日あたりが東京では桜の満開とかで、折柄の暖かさへ昨日の気温は真夏並、有史以来と伝えられていますので、人出で賑つたとか報導されています。

人出の多いと言う事では、雨が降ろうが、風が吹こうが、何処の観光地も人の出で一杯であつた事は、観光旅行中を通じて驚かされた事でした。

此處信州の山の中にも春の訪れが遅い乍らも、梅の花は散り、杏の花が二日位で満開となり、次いで桜の花が開く事でしよう。その間殆ど一二日の差で、その頃はさき美しい事だろうと、楽しみにしているんですが、今度来て見て、自然美の破壊や、自然への親しみのうすれて行く事をつくづくさとうされ、何も彼も、例えれば親戚間の交流でも、なんだから昔のようではなく、味気ないものになつてします。

昔は、お祭りとなれば、親類縁者が皆集つて來たものでしたが、今ではそうした行事も大方の人が勤め人である関係もあってか、殆ど形式的に、あつさり行われています。

客もなく職も立たず春祭、春風に、はたはたと音を立てて職に本当にお祭りだなど、実感を湧かした古き郷愁も、今では此處私の生れた所では味わえぬ事になりました。

たしかに経済の高度成長は讃えるべきでしょう。然しその一面、たんほほもスミレも余りに見掛けられぬ自然、桜は抜かれ、耕地はつぶされて、次第に建てられてゆく工場は終日煙を吐き、抜い乍らも次第に出来てゆく道路は、排気がスズ満され、此の山の中でさえ、何だか昔程の空氣の清澄さは望む由もありません。

これも老移民の郷であり、センチメンタルで、そんな事現に生活している人々に取つて関りのない事で、生活が豊かになりさえすれば、それ以外の事はどうでも良いのかも知れ

ミーリョ脱粒

ミーリョ脱粒の時期になります
した。多少にかかわらず御用
命下さい。



Debulha Milho

ドッキ テ カンマス街三六〇
電話一四四番

清家へ御用命下さい
ファルツーラ区

豊島重幸

太陽を追い掛けてゆく旅日永
れません。

飛機より見下した砂漠は、例えば、前衛画の色彩画の様に、美しいものだという事を知りました。
春風や国連本部の日の丸に
雪山や砂漠美し五彩して
砂漠は寒々とした感じの物と思つていた所、
来て見えぬケネデー空港残る雪

軍艦は霞みて海は真珠色
東京着

春曉の都心に鳥鳴を聞く
仲見世の焼芋車鈴振つて

変わぬは濠の石垣松の花
春曉の都心に鳥鳴を聞く
仲見世の焼芋車鈴振つて

残る雪握つて日本に来し思
ようやくに、日本に来ていると云う実感をつかむ。

松の花粉散りて旧道箱根関
木々の芽や富士を左右に箱根越え

アバカニテ 視察記

四月二十一日(水)午前二時半市役所前へ集合した熱心組は三十ヒ名・四台のベルアと一台のトモベルに分乗して、四時かゝりに出発・マリリア経由、チエテ河の橋を渡つて、一路北上、約三十五キロの地点にノーボ・オリゾンテ市があり、クラウデス市長の農園は、市の郊外十キロの地点で、広大なファゼンダである。

珈琲樹十万本、柑橘類五万本、吾々見学の本命アバカニテは三万本もあり、平坦な地形で見るからに肥沃な土質で、見事な成育振りである。10メートルの間隔で整然と定植された有様に、はじめて見学する吾々の度胆はふとび嘆声と驚嘆の連発である。

市長と同市のアグロノモ氏の説明によると、アバカニテの生果は、ファゼンダから各市へ直売され、中間商人の手を経ない、で最高の利潤を挙げて居る事である。種別は四種類であるが、脂肪分は少く最高十六%，只今北米へ技师を派遣していろが、市場情態とアバカニテの種類なども研究していろ筈だ。フェルテ種は脂肪が多くて、採油するだけで充分引き合うので、榨油機械もすでに取りよせてある。

アバカニテ油は目下化粧品に使用されているが、需要は無限といつてよい。アグロノモ及び市長の説明は、豊島重幸市議が通訳で、同行者は皆満足したが、同君のユーモアたっぷりの通訳ぶりは、天下無類の実に堂に入つたものである。

十二時半ノ、ホ市へ戻り、レストランテイタリアで中食、こここの美しい四人娘が愈入るので、豊島市議早速、カメラを差向け、花やめの姿を撮る。ところがその外交ぶりたるや、中々あざやかなもので、やんやの喝采であった。

午后五時帰着、往復五百キロ六時間あまりのビアージであった。

この視察で、アバカニテに対する認識が全くあらたまり、前途に光明をはつきりと見た恵い。これまでの新事業に対する一種の危惧感がふっとんでしまった。

「バストスの新事業はこれだ」との、希望が誰もの胸に芽吹いたように思われる。

クラウオス市長は、アバカニテをもつと、もうと増殖する計画だと書いて、上には上があるしのかなど、樂れるばかりであった――ということを、更めて見届けたわけである。

尚、この視察旅行に、車を提供した方は、大倉重一、岡本一一、浅川義範、トップパン、カーザ・デラボウラ諸氏の御厚意のペルア、

松原市長の車であり、又、アルモッサは市役所のおごりらしい。筆者より厚く御礼申上げておく。
(舶来種)契約に出かける由。

AVISO DE PREFEITURA PRELEÇÃO AGRICOLA

Realizar-se no "Seicho no 1º"
dia 7 de mes de Maio Proximo 10hs

おしゃらせ

農事講演会

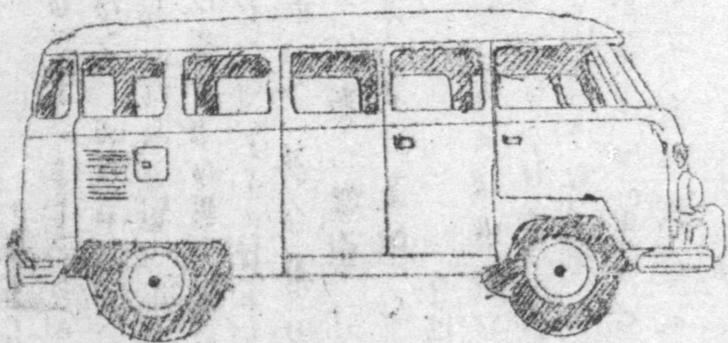
講師 DR. DR. オルジーロ ドリッキ
DR. エウビーニ アマンケ
通訳付

日時 来る五月七日午前十時
場所 バストス生長の家会館
大切な問題ですから
多数御いで下さい。

主催 バストス
プロフェイツーラ

松原雅春

フォルクスワーゲン Volkswagen



コピカルマントンギア1.5
カルヴァンク

California Motor S/A
カリフォルニア モトール

Oswaldo Cruz
オルワルド クルーズ 市
C. POSTAL 156

Diagnistica Elettonica

新設の電気検査機はくろまの
お医者さんです



世界の高級車、フォルクスワーゲン
新設の電気検査機を御利用下さい。
分解しないでどこがわるいか、すぐわかります。
ワーゲン車のモトル関係を診察して見ましょう。
銀行融資販売の御世話をいたします

	Aviso de Cine	Bartos
四月二十九日(火)三十日(水)	月影一刀流	頑固親父と江戸子社員
五月二日(金)八時	ゴーゴー若大将	東映
五月六日(火)九時半	亡靈郷と宿	天然色
五月四日(日)九時半	TPAにはかばはないは！高校生が結婚するとさー！	天塗色
五月九日(金)八時	人妻橋	東宝
五月十一日(日)九時半	佐々木小次郎「屋上菊之助」	天塗色
五月十二日(月)八時	坂本丸の「坊っちゃん」	松竹
五月九日(金)八時 十日(土)九時半	五木ひばり「FATALIDADE CRUEL」	松竹
	坂本丸の「坊っちゃん」	松竹
	三田佳子「三益愛子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹
	河内桃子「三島敏夫」	松竹
	司葉子「沢井桂子」	松竹
	大空真弓「仲代達矢」	松竹
	藤村有弘「古賀政男」	松竹
	三木のり平「三重佑三子」	松竹
	三益愛子「中村晃子」	松竹
	栗塚旭「九重佑三子」	松竹